

8-4-26 マネジメントシステム委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の運営方針

「システム改善」「品質向上」「環境配慮」「PFI」「PM」の5つの専門委員会により、広くマネジメントの実効性向上と、普及拡大を目指し、管理、業務の両面から活動を進めた。

委員会の活動目的は次の5点に関連する調査・研究および広報とした。①マネジメントシステムの実効性向上、②業務成果の品質の確保・向上、③環境配慮の推進、④PFI/PPP市場拡大・啓発活動の取り組み、⑤CM/PM関連技術の向上・周知とマネジメント領域の拡大への取り組み。

(2) 委員会の開催

委員会は10回開催した。

(3) 白書ならびに要望と提案

平成30年度「建設コンサルタント白書」の「CM方式の活用」「業務における品質管理の実情」「業務プロセスに併せた照査の改善」「設計責任の明確化」「環境配慮の推進」及び「CSRの推進」を執筆した。また、「要望と提案」においては「より魅力ある職業としての確立」及び「品質の確保・向上について」の原稿（新たな事業推進形態）を作成した。

(4) マネジメントセミナーの開催

「マネジメントセミナー」を各支部の協力を得て平成30年7月に開催した。セミナー実施内容は、「PPP/PFIの政策動向と事例紹介」、「CM方式の更なる活用に向けて」、「建設コンサルタントの環境配慮とマネジメント」、「マネジメントシステムの効果的運用に向けて」、「品質の確保・向上に向けて」の全5講で、会員参加は376社1,162名、発注者は86名と合計1,248名の参加をいただいた。アンケート調査結果によれば、各セッションとも高い評価を得て、「非常に役立つ」、「役に立つ」との回答が86～96%、また97%の方々から今後の継続開催の要望があった。

(5) PFI 専門家派遣、PFI セミナー等の開催

PFI 専門委員会では、内閣府の協力依頼に基づく地方自治体への講師派遣に11件対応した。10月には内閣府PPP/PFI推進室と、国の推進する政策やPPP/PFIの課題等についての意見交換会を昨年度に引き続き開催した（内閣府4名出席）。また「拡大するPPP/PFI」のテーマで、PFIセミナーを開催し、非常に好評であった（平成30年11月28日東京にて開催）。

(6) 「CM方式活用の手引き（案）」の改定

PM 専門委員会では、国が検討する事業促進PPP方式の活用方針を踏まえたうえで、土木学会と協調・連携して「CM方式活用の手引き（案）」を改定した。この内容・仕組みを国に提案しつつ、協力して事業促進PPP等に取り組む。

(7) 環境配慮に関する手引き作成他

環境配慮専門委員会では、「環境配慮の手引き2018」を作成した。また、「国土交通省の環境政策と奈良県十津川村SDGsへの取組について」の講演会を開催した（平成31年1月28日開催）。

(8) 品質の確保・向上に関する勉強会開催

品質向上専門委員会では、「ヒューマンエラーから学ぶ」と題した勉強会を開催した（平成31年2月28日開催）。

(9) その他の活動

当委員会の委員は、土木学会（ISO対応特別委員会、公共事業における技術力結集に関する研究小委員会、等）、UR都市機構、国土交通省の委員会に委員として参加する他、日本アセットマネジメント協会の活動にも協力している。

2. 次年度の活動について

品質向上専門委員会は別組織となる予定であるが、引き続き協力して「マネジメントセミナー」を開催し、それぞれの専門委員会活動を通して会員企業への情報提供と事業の啓発及び拡大に努める。

（マネジメントシステム委員会委員長 水野 高志）